

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	松阪市
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
4	基本・特別	保育園管理運営事業
事業費 1,330,560円(うち交付金:1,330,560円)		

1. 事業の目的	市内の保育園の机・椅子を木質化し、木材と市民の関係を深める。								
2. 事業の内容	市内の保育園の机・椅子を市産材で木質化した。 【事業実施主体】松阪市 【事業費】1,330,560円 【事業の規模(事業量)】保育園:1園(机:11脚 椅子:38脚) 【事業実施期間】平成26年11月~平成27年3月								
3. 事業の実績と効果	園児達が、市産材で木質化された机・椅子にふれることで、木材とのふれあいが進んだ。 【事業の規模(事業量)】保育園:1園(机:11脚 椅子:38脚) 【事業の受益者数等】保育園:つばな保育園 園児数41名								
4. 事業の評価と今後の取組方向	【事業の評価】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の視点</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>園児達が木質化された机・椅子にふれることで、木材とのふれあいが進み、高評価を得ている。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>市内で唯一、園児用の机・椅子を製作している業者から納入した。</td> </tr> <tr> <td>公益性(波及度)</td> <td>平成26年度の児童数は41名であった。</td> </tr> </tbody> </table> 【今後の取組方向】 園児から高評価を得たことから、次年度以降も当該事業を継続実施する。	評価の視点	コメント	有効性	園児達が木質化された机・椅子にふれることで、木材とのふれあいが進み、高評価を得ている。	効率性	市内で唯一、園児用の机・椅子を製作している業者から納入した。	公益性(波及度)	平成26年度の児童数は41名であった。
評価の視点	コメント								
有効性	園児達が木質化された机・椅子にふれることで、木材とのふれあいが進み、高評価を得ている。								
効率性	市内で唯一、園児用の机・椅子を製作している業者から納入した。								
公益性(波及度)	平成26年度の児童数は41名であった。								

5. 写真




6. その他特記事項	整備地に看板を設置予定。(平成27年度)
-------------------	----------------------

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	鳥羽市
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	鳥羽市農水産物直売所木の薫る空間づくり事業
事業費		4,045,680円(うち交付金:4,045,680円)

1. 事業の目的
 公共施設内で使用する木質テーブル及び薪ストーブを整備し、幅広い用途での木材利用を推進する。

2. 事業の内容
 平成26年10月にオープンした鳥羽市農水産物直売所内で使用する、木製テーブル・木製ベンチ及び薪ストーブを整備することで建築資材から木質エネルギーなどの幅広い用途での木材利用を推進することができた。
 ・事業実施主体 鳥羽市
 ・事業費 4,045,680円
 ・事業の規模 木製テーブル10基、木製ベンチ30基、薪ストーブ1基
 ・事業実施期間 平成26年6月1日～平成26年10月 7日

3. 事業の実績と効果
 年間412万人の観光客が訪れる当市の玄関口である鳥羽駅に隣接する鳥羽市農水産物直売所で使用する木製テーブル・木製ベンチなどの木質製品を通して、木の薫る空間づくりや薪ストーブを設置することで、木質エネルギー利用など木に触れることができた。
 また、当該施設は年間17万人の入込客数を見込んでおり、多くの方が利用する公共施設であることから方針でも示されている県民全体で森林を支える社会づくりに大いに貢献できた。

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	県産材を利用した、木製テーブル・木製ベンチは木材の利用普及を推進するとともに、薪ストーブを設置したことで、県民全体で森林を支える社会づくりに有効である。
効率性	事業実施にあたっては競争入札を行い、落札率は90%だった。
公益性(波及度)	木製テーブル・木製ベンチは木材の利用普及を推進し、木質燃料を使用した薪ストーブは、エネルギーの資源循環型社会の構築に期待できる。

【今後の取組方向】
 今後、市内で建設を予定している公共施設等に木材利用を積極的に行う。

5. 写真



薪ストーブ設置状況



薪ストーブ点火式の様子



県産材を活用した木製テーブル

6. その他特記事項
 広報とば7月1日号に事業内容を掲載するとともに、行政放送にて事業趣旨のPRに努めました。
 また、平成26年12月7日に鳥羽市農水産物直売所にて薪ストーブ点火式を実施し、薪ストーブの魅力と木材利用のPRを行いました。

森と海・きずな事業

～未利用間伐材利活用の推進～



森林 本来の機能回復を目指して、森と海・きずな事業を計画し森林整備を進めています。森林内に放置された未利用間伐材を搬出するとともに、木質エネルギーを多くのかたに利用していただけるよう薪ストーブなどの導入に向けた助成を継続して行っています。

農水商工課農林係 ☎ (25) 1231

新たに取り組む事業

暮らしに身近な森林整備事業
平成26年4月より、みえ森と緑の県民税がスタートしました。

みなさんから納めていただいた税をもとに、「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」の2つの基本方針に基づいて、荒廃した里山や竹林の再生、集落周辺や農地周辺など、暮らしに関わりの深い身近な森林を整備し、生活環境を保全します。また、この税を活用して、農水産物等直売所「鳥羽マルシェ」などで使用する木質テーブルやベンチなどを購入し、みなさんに広く活用していただきます。

継続して取り組む事業

薪ストーブ等利用拡大促進事業(募集)

間伐材などを使った資源循環型社会の構築に向け、薪や木質チップなどを主燃料とするストーブやボイラーなどの利用拡大を目的に購入費の一部助成を行います。

森林再生・環境創出事業

近年、イノシシシカサルなどの野生獣の出没や農作物への被害が深刻化しています。森林内に緩衝帯を整備し、人との住み分けを図るとともに、野生獣の餌場となるような環境整備を行い、集落周辺や農地周辺への出没の減少を図ります。

森林環境創造事業

針葉樹と広葉樹の混合林を対象に森林内の成長の悪い樹木を切り払い、過密になった木を間伐します。間伐を行うことで、立木間での成長競争を抑制するとともに病害虫や肥大成長を緩和することができます。

環境林整備促進事業

市の水源である加茂川上流に接する森林について、古くか

ら人の手が加えられていない広葉樹の環境林を対象に切り払いや伐採を行います。

生産林整備間伐促進事業(募集)

市内全域において、スギやヒノキなどを植林している森林所有者または、施業者へ生産林の間伐に必要な経費の30%程度を補助金として交付します。申込方法については、農水商工課農林係と間伐に関する事前打ち合わせを行った後、事業計画書を提出していただいで事業の開始となります。

生産林搬出間伐促進事業

スギやヒノキなどの生産林は人が手を加え、守ってきた森林です。成長の衰えている不良木や台風などによる風倒木などを間伐するとともに、間伐材を搬出し、木材としての有効活用を図ります。

届け出をお忘れなく
森林の土地を取得したとき
個人か法人かによらず、売買契約のほか、相続・贈与・法人の合併などにより森林の土地を新たに取得した場合に、事後の届出として森林の土地の所有者届けが必要です。

森林を伐採する場合

森林所有者などが指定された区域内の立木を伐採する場合には、森林の所在場所、伐採面積、伐採方法など必要事項を記載した届出が必要になります。



対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	南伊勢町
------	--------------	-----	------

番号	区分	事業名
2	基本・特別	統合保育所建設事業備品購入
事業費 2,635,200 円 (うち交付金: 2,264,000 円)		

1. 事業の目的
 南伊勢町では、町内の2つの保育所の統合を予定している。この保育所を木造で建築し、机、椅子等の備品も木製品とすることで木材利用を推進することとともに、木造製品のPRをする。

2. 事業の内容
 少子高齢化が進行し、出生数も下降している当町において、町内の2保育所の統合を計画し、1園については、平成27年4月1日に開園し備品の納入を行った。
【事業主体】 南伊勢町
【事業費】 2,635,200円
【事業の規模(事業量)】 スタッキングテーブル 24台、スタッキングイス 67脚
【事業実施期間】 平成26年12月25日～平成27年3月27日

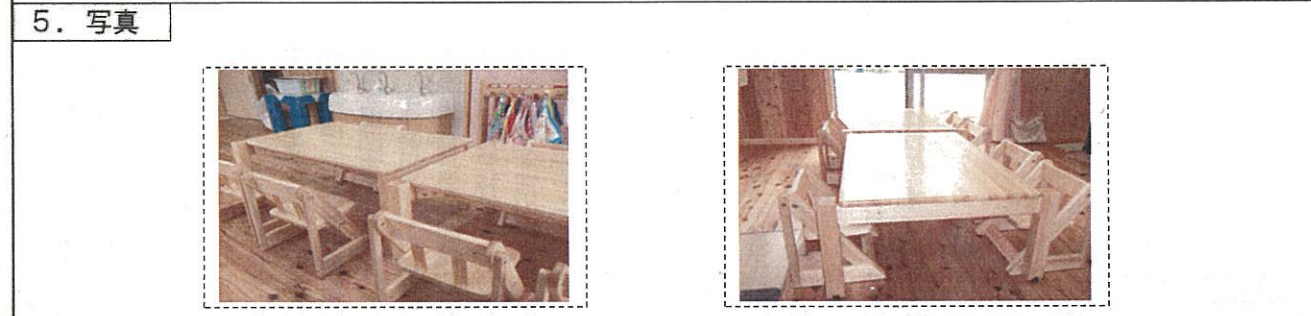
3. 事業の実績と効果
 統合保育所を木造にし、机、椅子等の備品も木製品にすることで、児童に対する木育を進めることができ保護者に対しても木造建築及び木製品の良さをPRできる。
 さらに、運動会などのイベントが年2回以上開催され、地域住民に対しても普及効果が期待できる。

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	園舎自体が木造建築でされており、幼い頃から木製品にふれあうことにより児童に対する木育をさらに進めることができる。
効率性	効率的に事業が実施できた。
公益性(波及度)	平成27年4月1日に新しく統合保育園が開園し、現在41名が通園をおこなっている。

【今後の取組方向】 今後も公共施設に木製品を整備し、木製品のPRを行った。



6. その他特記事項 今年度は、統合保育所で合併10周年記念の植樹祭を行なう予定をしている。

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	紀北町
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
4	基本・特別	紀勢自動車道地域振興施設備品整備事業
事業費		8,591,400円（うち交付金：8,591,000円）

1. 事業の目的
 三浦地域振興施設（始神テラス）内備品類を地域産ヒノキ材を用いて木質化し、ヒノキの薫る安らぎのある空間を来場者に提供する。

2. 事業の内容
 三浦地域振興施設（始神テラス）内の物販コーナー、フードコート等のテーブル・椅子・棚等の木質化。
【事業実施主体】 紀北町
【事業費】 8,591,400円
【事業の規模】 フードコート内テーブル大2台・中6台・小3台、椅子30脚、ベンチ12脚、衝立3台、物販コーナー内ディスプレイ棚5台、カウンターテーブル1台。
【補助率】 10/10
【実施期間】 平成27年1月～平成27年3月

3. 事業の実績と効果
 年間約60万人が訪れると想定される当該施設に、地域産ヒノキ材を用いた備品を導入することで、ヒノキの薫る安らぎのある空間を提供し、木のぬくもりにふれてもらう。
【事業の規模】 フードコート内テーブル大2台・中6台・小3台、椅子30脚、ベンチ12脚、衝立3台、物販コーナー内ディスプレイ棚5台、カウンターテーブル1台。
【事業の受益者数等】 年間利用見込み数 60万人


4. 事業の評価と今後の取組方向
【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	木のぬくもりの空間づくりに役立てた。
効率性	木質備品調達に際しては地域産ヒノキ材を活用し、地域の森林組合や製材業との連携で効率的かつ、地域色ある備品を導入できた。
公益性(波及度)	年間約60万人が訪れると想定される当該施設に、地域産ヒノキ材を用いた備品を導入することで、ヒノキの薫る安らぎのある空間を提供できた。


【今後の取組方向】 構造材、内装材、備品類等、公共建築物への木材利用を推進していく。

5. 写真

(着手前写真)



(着手後写真)



6. その他特記事項
 広報きほく5月号に事業実施記事を掲載。
 各備品にみえ森と緑の県民税のロゴステッカーを貼付。

うまいもんプロデューサー UMAIMON PRODUCER を利用して 紀北町を盛り上げます!!

紀北町に眠る「おいしい特産品・名産品＝うまいもん」を全国に広げよう!!

町では、地方の食材・食品に興味を持つ人向けのインターネットサービス「うまいもんプロデューサー」を活用して、紀北町ならではの「食材・食品」の情報発信を行います。生産者さん・事業所さんが商品への“こだわり”や“思い”を直接消費者に伝えることで、紀北町の「食のファンづくり」を行います。

「うまいもんプロデューサー」と一緒に、あなたの食材・食品を全国へ発信しませんか?この取り組みにご興味を持たれた生産者さん・事業所さんは、ぜひお問い合わせください。



うまいもんプロデューサーとは?

ニフティ株式会社と株式会社電通が共同で事業展開するサービス。インターネット上で生産者・事業者と消費者（プロデューサー）がアイデア会議をすることで、商品の良さを再発見でき、消費者の視点を取り入れて商品開発もできるサービスです。(URL:<https://umaimon-p.nifty.com/>)
※本事業は「平成 26 年度地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業」として実施しています。

【問い合わせ】

本庁商工観光課商工係 TEL46-3115 FAX47-5906
海山総合支所産業建設室産業振興係 TEL32-3903 FAX 32-2331

平成 26 年度 みえ森と緑の県民税

市町交付金事業を実施しました

森を育む人づくり

森林環境教育活動支援事業



環境林や公有林、学校林などを活用し、森林環境教育や育林体験などを通じて、森林の持つ公益的な機能や役割を広く理解してもらう事業の実施及び補助を行いました。

暮らしに身近な森林づくり

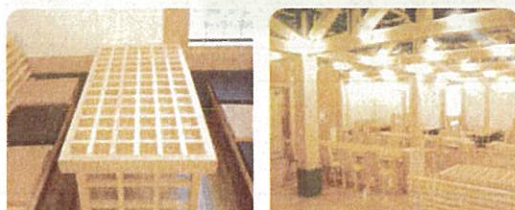
危険木伐採事業



人家裏などの放置林において、災害を未然に防止する観点から、人家裏山林などの危険木伐採事業について補助を行いました。

木の薫る空間づくり

紀勢自動車道地域振興施設備品整備事業



はしかみ 始神テラスに木質備品を整備し、木の薫る空間づくりを創出しました。

集落周辺森林（里山）整備事業



集落周辺などの荒廃が進む森林を住民自らが整備し、森林の持つ多面的な機能を活用し、安全安心・快適な生活環境を創出していく活動について補助を行いました。

【問い合わせ】

本庁農林水産課林政係 TEL46-3116
海山総合支所産業建設室産業振興係 TEL32-3903

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	御浜町
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本・特別	学校施設木質化事業
事業費		834,280円(うち交付金:834,280円)

1. 事業の目的
 木づかいを通じて森林を支えるため、御浜町立の学校施設における、木材製品の導入などを通じて、木材利用を促進し、木材と町民との関係を深める。

2. 事業の内容
 県産材木製品により2校の学校備品を整備した。
【事業実施主体】 御浜町
【事業費】 834,280円
【事業の規模(事業量)】
 ・御浜小学校：踏み台1、掲示板1、座卓4、ロッカー1(県産材使用量0.276m³)
 ・阿田和小学校：掲示板1、図書室机4(県産材使用量:0.511m³)
【事業実施時期】 平成26年4月～平成27年1月

3. 事業の実績と効果
【県産材木製品による学校備品の整備内容】
 ・御浜小学校：踏み台1、掲示板1、座卓4、ロッカー1(県産材使用量0.276m³)
 ・阿田和小学校：掲示板1、図書室机4(県産材使用量:0.511m³)
 導入した木製品とふれあうことのできる児童数：475人

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	児童や教員からは、「木を多く使用したことで、教室等から温かみを感じられるようになった」などという声が寄せられている。
効率性	学校備品の導入に当たっては、地域材に精通している町内業者から調達した。
公益性(波及度)	導入した木製品とふれあうことのできる児童数は、475人程度

【今後の取組方向】
 児童や教員から高評価を得ていることから、次年度以降も町立学校施設の木質化に取り組んでいく。



6. その他特記事項
 児童や教員から高評価を得たことから、次年度以降も町立学校施設の木質化に取り組んでいくこととしており、その際には、整備の財源として「みえ森と緑の県民税」を活用したことを周知していくこととしている。